

病虫害発生予察指導情報  
(今後の気象予報から発生に必要な病害)

令和5年9月1日  
鳥取県病虫害防除所

1 情報の内容

9月の今後1か月の気象予報では、平年より気温が高く、降水量も多いと予想されており、今後、病害が急増する恐れがあるため、ほ場をよく観察し防除を徹底して下さい。

2 情報の根拠

- (1) 向こう1か月の天候の見通し(2023年8月31日発表、広島地方气象台)によると、向こう1か月の平均気温は高く、降水量は平年並か多い見込みである。
- (2) 8月下旬時点の巡回調査において、各病害の発生は平年並～やや多いで推移しており、今後の発生増加が懸念される(表1)。

表1 各種病害の発生状況等と今後の発生予報

病害名	圃場巡回調査による各病害の発生状況(8月下旬調査)	今後の発生予報
ブロッコリー黒すす病	発生なし(平年並み)	やや多い
アブラナ科黒腐病	発生なし(平年並み)	
野菜類の軟腐病	平年並～やや多い	
ネギ黒斑病	平年並	
ネギ葉枯病	平年並	
ネギ白絹病	平年並	
トマトすすかび病	当场試験ほ場にて初発確認	
ナガイモ炭疽病	平年並～やや多い	
イチゴ炭疽病	例年に比べ病虫害持ち込み診断多数	

3 防除上注意すべき事項

- (1) 発病が認められない場合でも、早めの予防防除に努める。
- (2) 害虫の食害は細菌性病害の発生を助長するので、害虫防除も同時に行う。
- (3) 薬剤耐性菌の発生を最小限に抑えるため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布するように心がける。また、薬剤の散布量は十分に確保する。